



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と
男女平等参画社会の形成と促進のために

WAVE 第7号

発行日：2012年10月31日
発行：特定非営利活動法人
M・I・T・O 21
〒310-0851 水戸市千波町508-34
発行責任者：黒澤輝子

ヒューマンライフシンポジウム 2012 開催される



2012年9月29日（土）エクセルホールにおいて
男女平等推進月間事業の最大行事として
「女と男のいきいきライフへの道」をテーマにスポーツ
ジャーナリストでアスリート増田明美さんの
「夢を走り続ける女たち」と題した講演、
(株)FC水戸ホーリーホック代表取締役社長沼田邦郎さん
コーディネーターにフリーアナウンサー渡辺美奈子さん
迎えトーク＆トーク、スポーツを通して男女平等参画、
男女の生き方を語っていただきました。

講師の増田明美さんは、先のロンドンオリ
ンピックに史上初めて全種目に女性が参加
したことを踏まえ役員も含め、男女の一体感
が大切であると体験を交えてユーモラスに
話されました。

パネラーとして登壇された(株)FC水戸ホ
ーリーホックの沼田社長から「地域に貢献
したい、水戸市のためにホーリーホックの火
を消してはいけない」とスポーツ文化の醸
成と市民の盛り上がりに期待すると語られ
ました。



会場に詰めかけた人たち



また沼田氏からケーズデンキスタジアムで行われ
るホーリーホックの試合入場券招待チケットの
抽選を「ホーリー君」とジャンケン大会をして
20人の方に差し上げました。（田山知賀子記）

ホーリー君とジャンケン大会

～女と男のいきいきスタイルセミナー～

6月27日より8回シリーズの終活支援講座を企画しました。自分自身の生活を見直して、①物の整理・片付け術、②急な時の備え－病気やけがであわてないで済む方法、③自分の輝く姿を一枚の写真にと美しい表情の撮られ方、④騙されやすい年代の消費者相談から見えてくる賢く生きる方法、⑤自分の最期はこんな形でと可能な限りの「よろしくノート」作り、⑥私がもし認知になつたらと法律の中の成年後見制度と遺言、⑦相続や税金のしくみを学びました。⑧最終回は自分らしくいきいきと活動されている声楽家・合唱指揮者の中澤敏子先生を講師にフリートークの時間を過ごしました



第1回 すっきり暮らそう
－物持ちシニアのお片付け術－
講師 NPO法人くらし協同館なかよし
理事 橋本てるみさん



第2回 急な時の備え
－私や家族が病気になった時－
講師 県立中央看護専門学校
元教頭山形文子さん

第3回 表情に見る前向きな生き方

－素敵な写真の撮り方撮られ方－
講師 影光堂代表 写真家 渡辺正也さん

講師の正也様は女性ならではの感性と手法を、ユーモアを交えてわかりやすいお話しで、カメラに向かった時のポーズのとり方などとても参考になりました。

経営者であるご主人の傍でサポートに徹していた正也様が、プロとしての腕を磨き、技術をマスター、押しも押されもない女流写真家として、傘寿を迎えるもなお若々しくご活躍をなさっている姿は同年代の私は羨ましく感じました。

ポーズのとり方、顔を向ける角度、足の位置、右足左足の角度、右側を写す時と左側を取るときの角度の違いなど分かりやすく説明をいただきました。

写真を撮る時、シャッターを切る時の写される方への配慮も学び、背景と人物の位置、写真を撮るときは正也様の言葉を思い出して参考にさせていただきます。楽しい時間はあっという間に過ぎ、もっともっと楽しいお話しを伺いたかったです。今なお活躍なさっている姿はご本人の努力と向上心、そして前向きな生き方にご主人への深い思いを感じ、生涯現役の女性の強さに感銘を受けました。 鈴木ゆふ



第4回 私の人生の履歴書 －覚書から始めるよろしくノート－

NPO 法人市民葬送情報センター 小杉佐智子理事長をお迎えしてお話を伺いました。

「よろしくノート」には小さな仕掛けがいっぱい！そしてそこには大切に思う人への思いやりの気持ちもたくさん詰まっていました。

今までタブー視されがちだった「人生の最期を考えること」は少子化や終末医療等の問題によって避けては通れない重要なテーマになりました。

頂いたレジメの中に、“自分自身のため”として“自分自身を振り返り、今と向き合うことで、これから的人生を前向きにより良く生きる力になります”とありました。「どう死ぬか」は「どう生きるか」に繋がっていると思います。

また「よろしくノート」は鉛筆で書くと良いとのことです。考えが変わった時、訂正できるからです。その鉛筆の消しあとは、一生懸命自分のこと、大切な人たちのことを考えた証だと思います。

人生には思ってもない別れもあります。“残された家族にも大きな負担と迷惑がかかる”とのことです。私にも経験があります。



迷惑というよりどうして欲しかったのか、何を望んでいたかそれをしてあげられないもどかしさと悔いが残りました。

「よろしくノート」は老支度を考える年齢の方ばかりでなく、若いご夫婦、さらに独身の方々にも必要なものです。若いからこそ必要ではないでしょうか。話し合い、伝え合うことは家族の絆を深めることになると思います。

「よろしくノート」の中には、遺影写真の貼り付け欄もあります。第3回目の渡辺正也さんに教えていただいた素敵な写真の撮られ方を実践し、エンディングを飾るちょっとと素敵にとれている私を残したいと思いました。大内晴江

第5回 新世紀を賢く生きる －消費者問題を読み解く－



水戸市消費生活センター 所長 田山知賀子氏



第6回大切な人へのメッセージ
(遺言・成年後見制度)
人権擁護委員・弁護士 荒川誠司氏

パキスタンバザールのサンクスデー

2012.7.1 東京の南麻布にあるパキスタン大使館で
バザールの成功を喜び、感謝の集いを大使館主催で行われ、
関わったメンバーが出席してきました。

黄門さん・青空マーケットから



宮城県仙台市栗生にあるぴっぴ栗生で障害のある
子どもたちの音楽療法でピアノを使います。

お礼のメッセージが届きました。



第7回相続のしくみと節税
(株)ビジネスコンサルタント会社社長
根本雅之氏のお話



水戸市中心市街地の活性化のため、南町自由広場を
にぎやかにしようと、『フレンズ』に演奏をお願い
して「みんなで作る音楽会」を天気の良い日には行
っています。歌い手はアマチュアですが、気軽に季
節の歌、楽しい曲を選んで、演奏を楽しみます。ま
ちなかで音楽家が仲間を募り、にぎやかにしてくれ
て、バザーの収益金で音楽愛好家からのご好意の
ピアノを被災地へ贈りました。



理事就任のあいさつ

今年度、理事に就任致しました
安久正倫(あぐまさみち)です。
皆様との出会いは県民文化セン
ターで実施した「フラメンコ
曾根崎心中」の企画・運営を
したことです。1000枚以上のチケットを完売させた
そのパワーはただただ驚くばかり。
自分は現在NPOセンターに勤めており、その方面
からお力になれば幸いに思います。皆様、どうぞ
よろしくお願ひいたします。



特別寄稿 パキスタン・バザール in 偕楽園

2012.5.26~27

—Pakistan Japan Friendship Bazar Ibaraki—は快晴と幸運に恵まれ、大勢の方にご来場いただき無事終了することができました。

「日本パキスタン国交樹立 60 周年」「震災復興支援」「友好」と大きな看板を掲げ、大使館主催のバザールの企画は、3月にチャイを飲みながらパキスタン大使との歓談の中で始まりました。

大使館が東京以外で初めて開催するバザール、しかもチャリティーイベントなどしたこともない私に大使は「できると思うか?」と問うたのです。私自身東京在住ですが、茨城県とは長く関わって過ごし、第二の故郷と思っています。昨年の東日本大震災、その後の風評被害、観光客減と苦戦中の茨城を思う気持ちを形にできるかもしれない…後先など考えずイエスと言っていました。その日を境に平凡な日々が2か月後のバ



ザールの企
画と準備と
いう怒濤の
日々と化し
ました。
週の半分を
友人と2人

で東京から水戸に通い、役所や企業へ後援や協賛をお願いし、地元でのサポーター探しも進めました。日本7名パキスタン2名のスタッフは、まさに時間との戦い、重責を感じつつ、すべての企画が同時進行でした。絶対成功させるという意気込みは、皆の原動力となりました。

なぜパキスタン?なぜ茨城?目指したのは政治にも宗教にもとらわれない皆で楽しむ元気なバザールでした。シルクロード発祥のバザール。オアシスで東西の品物・文化・音楽などで交流したというバザール。フェスティバルではなくバザールという言葉にこだわりました。水戸偕楽園で、かつてシルクロードで繋がっていたパキスタンと日本が出会うバザールを開催したかったです。インダス文明や仏教が始まったガンダーラの国、壮大な大地に根ざすパキスタンと島国日本の交流。明快で大使が即決するパキスタンに対し、対照的に皆で話し合い、本当にできるのか何度も確認し、



工程表で用意周到に準備を進める日本。初めての事、地元発の企画でないことには慎重な茨城。そんなお国柄、県民性は準備の段階で随所に發揮されましたが、そんな違いも認め合って、面白く感じてしまうほど充実した準備期間でした。最初は誰しも本当にできるのか?資金は大丈夫か?と懐疑的でしたが話をしていくうちに皆が前向きに様々なアイデアを出して支えてくれました。美しい偕楽園で開催したいとの思いから茨城県に借用を交渉しましたが、なかなか許可が下りず高い壁を感じたのも事実です。チャリティーでのステージ出演をお願いし、共感を得るのにも時間をかけました。細かった糸は徐々に太くなり、バザールという大きな目標を前に加速をつけ力強くなっていきました。

若者の応援
も有難く、
メディア作
戦もフル稼
働でした。
何よりうれ
しかったの
は、バザー



ル当日 100名近い学生・社会人のボランティアが参加してくれたこと、たくさんのパキスタン人が来場して喜んでくれたことです。大事な本部は MITO21 や南町商店街の有志ががっちり支えてくれました。皆の力を結集してバザールは成功、復興支援への寄付も県知事にお届けし安堵しました。国際的なイベントを成功に導くためには、お互いを理解しよう、尊重しようとする気持ちが大切だと痛感しました。グローバルな時代にあって国営那珂港を擁する茨城県だからこそ、多くの国際人が育つように、今も国際交流の機会が増えるよう願っております。(クラウドナイン 岡 京子)

2012年度上半期ダイアリー

- 4月 15日 黄門さん・青空マーケット／2012年度第1回理事会 みと文化交流プラザ
5月 10日 認定NPO法人コモンズ「会計基準研修」労働福祉会館
5月 20日 第4回通常総会 みと文化交流プラザ
5月 26日 黄門さん・青空マーケット／パキスタン・バザール in 偕楽園
5月 27日 パキスタン・バザール in 偕楽園／認定NPO法人コモンズ通常総会
6月 7日 水戸市とヒューマンライフシンポジウム2012（平成24年度）の業務委託契約
第2回理事会 みと文化交流プラザ
6月 9日 黄門さん・青空マーケット
6月 27日 女と男のいきいきスタイルセミナー8回連続講座開始
第1回すっきり暮らそう
－物持ちシニアのお片付け術－ みと文化交流プラザ
6月 27日 第1回全体会・今後の事業について、
ヒューマンライフシンポジウム2012について
7月 1日 パキスタン大使館より感謝状授与式出席 東京都
7月 11日 第2回急な時の備え－私や家族が病気になった時－



ヨガで身体のストレッチ



男女平等参画課と協働でPR活動

- 第2回全体会・ヒューマンライフシンポジウム2012
テーマ、コンセプト決定
7月 14日 黄門さん・青空マーケット
7月 18日 第3回素敵な写真の撮り方、撮られ方
7月 28日 黄門さん・青空マーケット
8月 8日 第4回私の人生の履歴書－よろしくノート－
8月 17日 第3回全体会ヒューマンライフシンポジウム
2012チラシ・ポスター配布作業
8月 22日 第5回新世紀を賢く生きる
－消費者問題を読み解く－
- 9月 1日 ケーズデンキスタジアムにて、ヒューマンライフシンポジウム2012のPR活動
9月 12日 第6回大切な人へのメッセージ（遺言、成年後見制度）
9月 16日 水戸の女性史を作る会との共催 山川菊栄と水戸・DVD上映とお話し
9月 20日 NHK水戸放送局 「わいわいお知らせ隊」ヒューマンライフシンポジウム2012PR活動
9月 26日 第7回相続のしくみと節税
第4回全体会・ヒューマンライフシンポジウム2012役割分担確認
9月 28日 ヒューマンライフシンポジウム2012現地確認
9月 29日 ヒューマンライフシンポジウム2012開催
10月 10日 女と男のいきいきスタイルセミナー第8回自分らしく年を重ねて～心を整える～
中澤敏子先生を交えてフリートーク
10月 13日 黄門さん・青空マーケット
10月 28日 水戸まちなかフェスティバル 黄門さん・青空マーケット

編集後記 今年度通常総会終了後にNPO法改正のため、法手続きを所轄庁への済ませることに事務局では初めての経験を多くしました。公に認められる法人は文書作成、経理面多くの人材が必要です。この広報もしかり、多くのボランティアに支えられて上期の活動を乗り越えてきました。引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。事務局